

科目名	保健医療福祉の仕組み					DP5 DP6		看護高等課程	
学年	1 年	分野	専門基礎 保健医療福祉の仕組み	時間数	25 時間	担当 教員	服巻 信也（7）、岩本 留美（6） 武田 玲子（12）		
科目 概要	超高齢・少子社会、保健医療においては病院完結型から地域完結型への転換など、これからの社会変化を見通した保健医療福祉関連制度の知識は看護職者にとって重要である。ここでは、医療従事者として社会背景の変化を捉え、保健医療福祉職の連携・協働に活用できることを目的として保健医療福祉の全体像を学ぶ。								
到達 目標	1. 医療の制度や医療の対策を理解することができる。 2. 公衆衛生の概念や地域で行われている保健活動の基本的な内容を理解することができる。 3. 社会福祉の概念や社会福祉の制度について基本的内容を理解することができる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1～3	現代医療とヘルスケア		現代医療とはなにか、現代医療のアプローチとは何か 患者学へのアプローチ				講義	服巻	
	現代医療のしくみ		近代医学の考え方、現代医療の制度、 今後の医療対策と課題						
	近代医療の倫理		患者―医療者関係、医療者の倫理的責任、 バイオエシックスとクオリティオブ・ライフ 医療倫理の実践のために						
4～6	公衆衛生とは 環境と生体		公衆衛生と健康、我が国の公衆衛生活動の発展、 国際社会における公衆衛生の発展 環境衛生、栄養と食品衛生				講義	岩本	
	疾病の予防 人口と衛生統計		感染症の予防、死因の上位を占める疾患などの予防 人口静態、人口動態						
	保健活動		健康づくり対策、母子保健、学校保健、成人保健 高齢者保健、精神保健、産業保健、衛生行政						
7～ 12	現代社会における社会 福祉の意味		社会福祉の概念、現代社会における社会福祉の考え方				講義 フィールドワ ーク	武田 他専任教員	
	社会福祉の発展		我が国の歩み、欧米での歩み						
	社会福祉制度と実施体 制		社会福祉の制度、社会福祉サービスの体系						
	社会福祉の支援とソー シャルワーク		制度と実践、ソーシャルワークの方法、						
	社会保険と関連制度		社会保険制度、関連制度						
	これからの社会福祉		介護保険制度の創設、社会福祉基礎構造改革 障害者総合支援法						
13	試験		(1 時間)				試験		
評価 基準	服巻(30 点)、岩本(30 点)、武田(40 点)の計 100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。								
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。								
教科書	看護学入門 4 保健医療福祉のしくみ 看護と法律 必要時、資料等は配布する。								
履修上の 注意点									